

合同会社 CLASSic サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 8 月 5 日

株式会社北洋銀行
清田区役所前支店

1. 基本情報

企 業 名	合同会社 CLASSic	
代 表 者 名	代表社員 小林 誉英	
所 在 地	- 本社 札幌市清田区里塚 3 条 3 丁目 22 番 1-2 号 - 清田事業所 札幌市清田区真栄 1 条 2 丁目 4 番 1 号 - 発寒事業所 札幌市西区発寒 7 条 5 丁目 11 番 21 号	
資 本 金	300 万円	
従 業 員	11 名 (2025 年 3 月現在)	
業 種	福祉事業	
事 業 内 容	- 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 - 教育機関への研修、講演会の企画、運営 - 福祉サービスの運営コンサルティング	
沿 革	2019 年 5 月 2019 年 12 月 2022 年 9 月	当社設立 放課後デイサービスみかづき開設 放課後デイサービスみかづき発寒開設

2. 経営理念

経営理念

笑顔の連鎖を生み出す

合同会社 CLASSic(以下、「CLASSic」)はこの経営理念に基づき、「子どもから高齢者まで自分らしく笑顔で生きることができる地域、社会を支える」ことを企業の存在意義(ミッション)とし、そのために「安定して顧客を支えられる経営基盤の確立する」ことを目指す姿(ビジョン)として活動している。

すべての人が自分らしく生きることができる社会を目指し、「CLASSic(暮らす+らしく)」と名付けられた。放課後等デイサービスの「みかづき」は、「まんげつじゃなくても、いつも同じカタチや輝き方じゃなくても、だいじょうぶ どんなみかづきも美しく輝いているように どのみかづきにもその良さがあるように それぞれの子どもが、その個性を光らせることができる、手助けの場所を目指して」というコンセプトのもと運営している。

3. 事業概要

CLASSic は札幌市清田区に本社を置き、札幌市清田区と札幌市西区の 2 か所で放課後等デイサービスを営む福祉事業者である。放課後等デイサービスでは生活スキル、社会性、身体能力を高めるほか、パソコン（プログラミング含む）の使用や、IT リテラシー獲得へのアプローチにより、多面的に成功体験を積めるような療育を行っている。また、個々の適切なアセスメントによる個別支援計画と障がい者の自立に向けた計画作成を強みとする。

オンラインスキルの向上には特に力を入れている。児童 1 名に対し、1 台のパソコンを準備。リサーチ力向上やネットリテラシーの育成、オンラインコミュニケーションによる画面の先の相手への思いやりや伝え方といった現代社会に必要なスキル習得ができる環境を整備している。



出所: CLASSic 提供資料

CLASSic は経営理念として掲げる「笑顔の連鎖を生み出す」起点となる従業員に対し、「自己実現と経済力の確立」と「挑戦と変化を楽しむ組織」を行動指針としている。この行動指針を実現するため、「地域の中でともに挑戦し、失敗し、成長できる大人であり続ける」「自己研鑽を怠らず、常に知識や技術の更新をする」「変化を楽しみ、成長に繋げるマインドの醸成を目指す」「自己の幸せも追求し、笑顔で過ごす時間をより多く持つ」を従業員のミッションとして設定。資格取得支援や外部研修参加費用支援を通じ、人的資本経営の推進に取り組んでいる。

また、従業員のエンゲージメント向上のため、当社オリジナルのバランススコアカードを用いて評価基準を可視化。加えて事業所ごと、従業員ごとに KPI を設定。この KPI に基づいた定期的なフィードバックと客観性のある人事評価に加え、従業員も事業所同様に個性を生かし、足りないところは補い合うことでチームワークが生まれ、当社で働くことの喜び、誇りがエンゲージメントの向上につながっている。



出所: CLASSic 提供資料

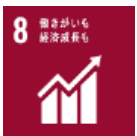
4. サステナビリティ目標

CLASSic の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、CLASSic の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、CLASSic のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	① 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	① 正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。